

ポリエステル健康断熱材 パーフェクトバリア

取扱説明書

安全な材料での正確な施工が、最良の断熱性能を発揮します。

パーフェクトバリアは、お施主様だけでなく施工者にも安全な断熱材です。現場施工の際に繊維が刺さってチクチクしたり、肺に吸引して発ガンが疑われることはありません。

痛痒なく手に優しいのはもちろん、軽量で、カッターで簡単に現場加工できます。また、製法特許をもつ独自の特性により、ボードタイプは、巾方向に伸縮し、ロールタイプは、長さを手で簡単にカットすること

ができます。現場加工の際も余分な粉塵が少ない極めてクリーンな素材です。下記の施工方法により、正確な施工をお願いします。

ロールタイプ



標準品



耳付

片面を熱で薄皮状にしてあり、その面を室内側にして、皮部分をつまんでタッカ留めて下さい。上枠と間柱側面のできるだけ手前側に留め、内装材との間に隙間をつくらないで下さい。折り込んで幅調整し、ピンと張った状態で施工して下さい。

上枠にカーテンを下げるイメージで、しっかりタッカ留めし、耳部分を間柱に150mmピッチで留めて下さい。できるだけピンと張った状態で施工して下さい。

ボードタイプ



サイドスリット、ボードタイプは、幅方向に押さえると1cm収縮しますので、少し大きめにカットして押し込んで下さい。壁厚より薄いボードの場合は、奥に釘打ちし、ストッパーを設け、内装材との間に隙間をつくらないで下さい。

パーフェクトバリアの現場保管について



パーフェクトバリア自体に吸湿性はありませんが、現場保管をする場合はパレットを置き、地表面に直接置かないで下さい。ポリエチレン梱包の運搬時のきず、穴等を補修し、ブルーシートで養生して下さい。

パーフェクトバリアの現場での切断作業について

ロールタイプ

ロールタイプの幅・長さ調整はオルファ社製のロータリーカッターもしくは大型裁ちバサミをご使用下さい。また長さ調整については、手で簡単に裂くことも可能です。



図1 ロータリーカッターで幅調整可能。



図2 ハサミでも幅調整可能です。



図3 長さ調整は手でも可能です。耳部分は、刃物でカットして下さい。



オルファ社のロータリーカッター

ボードタイプ

40mm以下のボードタイプは、オルファ社の超鋭角刃特選黒刃をご使用下さい。50mm以上の厚いボードタイプは、電動丸ノコの刃を裏返して装着しカットして下さい。



図1 薄いボードタイプは、オルファ社の超鋭角刃特選黒刃をご使用下さい。



図2 厚いボードタイプは、電動丸ノコの刃を裏返して装着しカットします。繊維がからむ事無くカットできます。



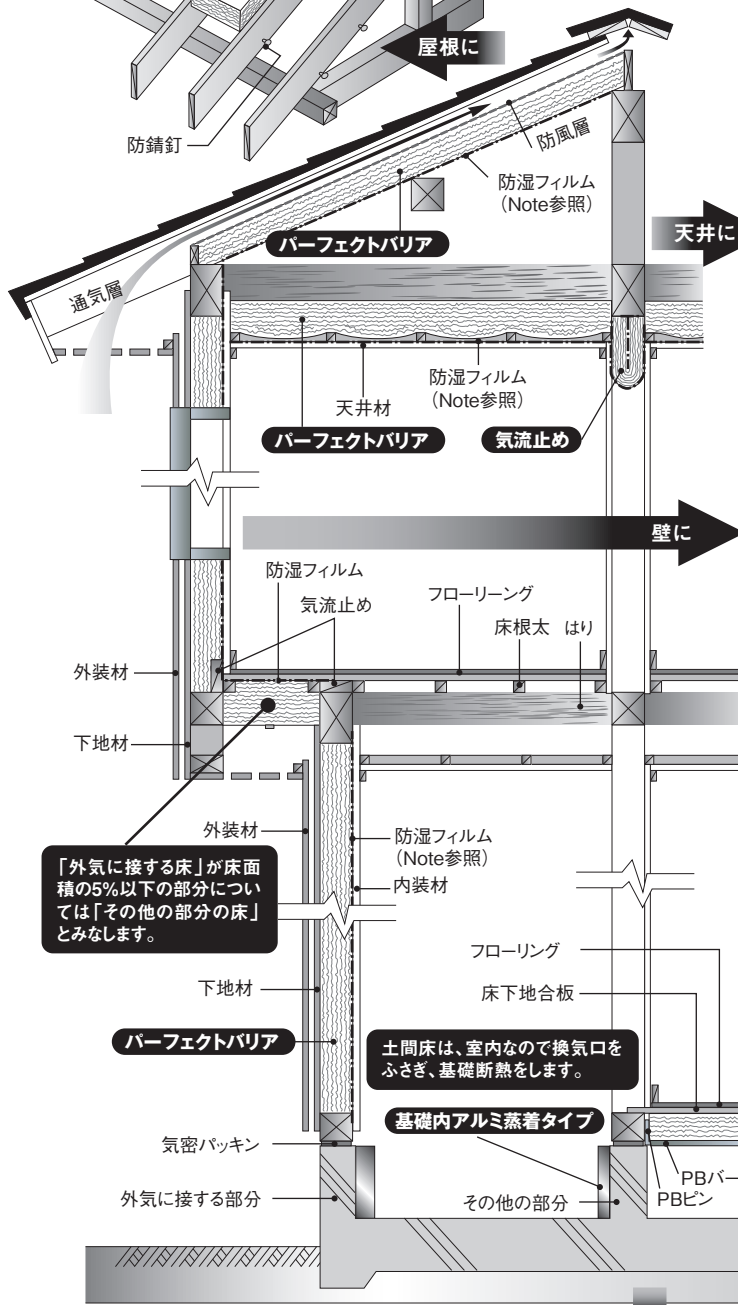
オルファ社の超鋭角刃特選黒刃(替刃)

屋根

ボードタイプ：
品番NCO、NCS、
防錆釘等でたわまない
ように取り付けます。

パーフェクトバリア

屋根断熱の場合、野地板との
間に通気層を設け、垂木間に
断熱材を充填します。
防湿フィルムで防湿します。



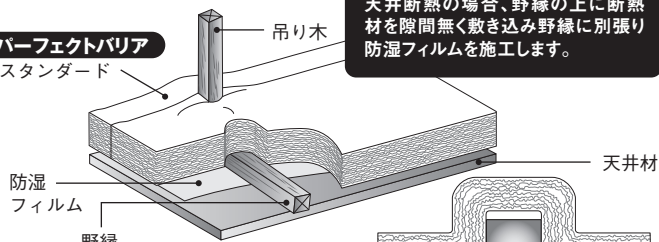
< パーフェクトバリア充填工法 >

※屋根と天井の両方に断熱材を施工する必要はありません。

天井

パーフェクトバリア

スタンダード



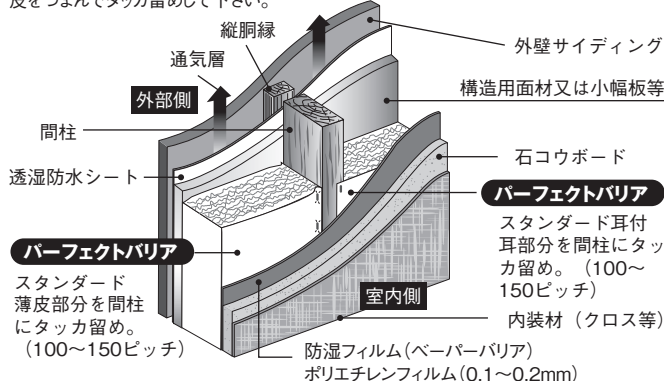
天井の照明器具は断熱材で覆うことができるS型ダウンライト(断熱器具)を必ず使います。

S型ダウンライト(ブローの場合はSB型)の気密タイプを使用します。

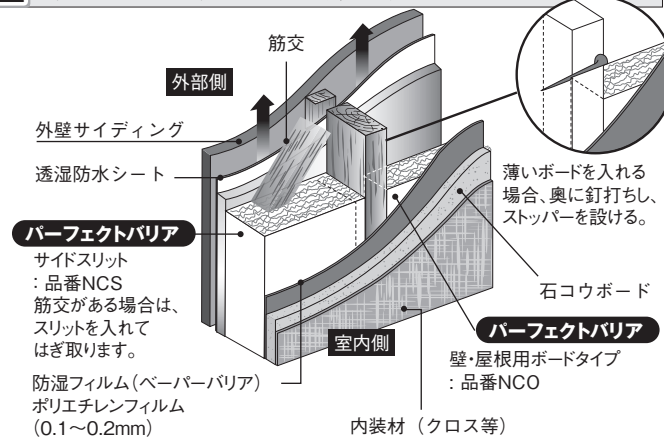
壁 (ロールタイプ)を壁に充填する場合

※施工上のポイント

- 1) 上枠にしっかり止め、カーテンを下げるイメージで装着して下さい。
- 2) 片面が熱で薄皮状にしてあり、その面を部屋内側にとって、皮をつまんでタッカ留めして下さい。



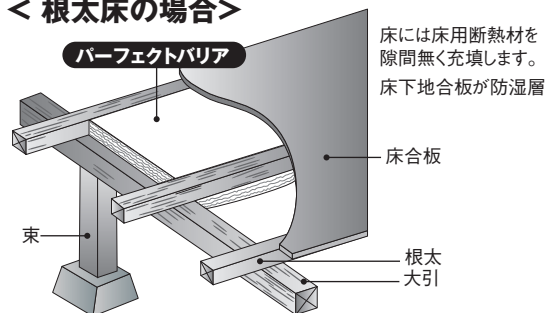
壁 (ボードタイプ)を壁に充填する場合



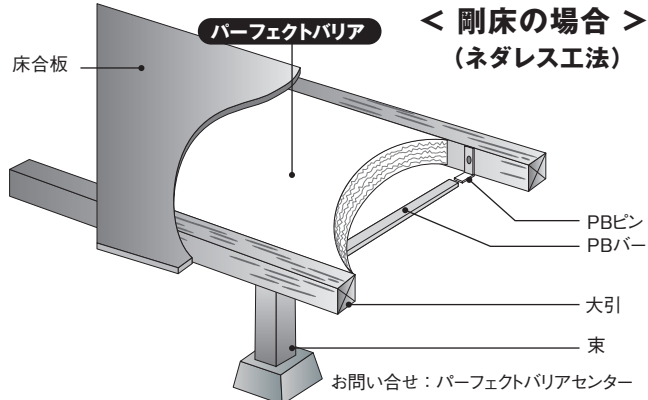
床

< 根太床の場合 >

パーフェクトバリア



< 剛床の場合 > (ネダレス工法)



Note

パーフェクトバリアは、袋入製品ではありません。壁外部の構造が合板等を使用して、壁内部の湿気を排出しにくい場合は、防湿シート(ポリエチレンフィルム0.1~0.2mm)を室内側にすき間無く施工して室内の湿気が壁内部に侵入するのを防止して下さい。尚、フラット35融資を受ける場合の仕様は、パーフェクトバリアセンターにお問い合わせ下さい。

製品名 バリアエース フクビ化学工業 0776-38-8013
 インバリア 三菱樹脂 03-3279-3432

お問い合わせ：パーフェクトバリアセンター